



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



菅原神社 The maple 撮影：松本 栄規さん

## 「たより」No.265 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	4
・上越の行事・展示会の予定	
オーレンピアノコンサート、レルヒ祭・灯の回廊	
・上越、旬の話題	
上越飲食店、ミシェランガイドに登場	
八坂神社の改修工事完了、雁木の魅力発見 (写真コンテスト)	
なんでも上越	6
・「戦場のバイオリニストの思い」(植木周三氏の戦争手記より)	
上越産品販売のお知らせ	8
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」(2020年4月改定)では、「たより」をカラーでご覧いただけます。

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

- (1) 会員は現在 600 名です。(令和 2 年度目標 610 名)
- (2) 「ふるさと市場」(10月)の販売状況 合計 116 件 ¥245,997 (前年同月 90 件 ¥119,623)

### 1. 当面のJネット活動

コロナ禍により、会合は制約がありますが、その分を「たより」やホームページ（HP）の充実、上越製品の紹介・販売拡大、ならびに、上越応援の取り組みを一層、充実するように努めてまいります。

### 2. 12月の東京サロンは休会。

12月も東京サロンは休会します。新装の東京新潟県人会館にて東京サロン開催をとのお声もいただきましたが、10月下旬より、新型コロナウイルス感染者数が再び増加、已む無く休会継続となりました。なにとぞご理解ください。

なお、今後のオンライン開催を含めてのサロン再開につきましては、「たより」やHPをご参照いただくか、あるいは事務局にお問合せください。

### 3. 東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」の竣工、開館



東京新潟県人会館は、平成30年（2018年）11月より、建替え工事を進めてきましたが、予定通り、令和2年11月26日竣工、新・東京新潟県人会館（名称は ふれあいふるさと館）として、12月1日開館となります。

新会館は地下1階地上9階建てで、旧会館と同じく、地下1階はテナント、1階は事務室とテナント、2階はホール（定員100名）、3階に会議室（大中小の3室）、4～8階はユースホステル、9階は倉庫と応接スペースです。

また、2階ホールと3階会議室の利用は、会員優先ですが、一般にも開放いたします。

コロナ禍も収まり、新館で東京サロン等の会合開催を期待しております。

### Jネット「たより」ならびにHPの記事を募集します。

Jネットは上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

#### 4. 2021年度Jネットカレンダーをお届けします。

今年も小坂恵美理事に制作していただき、上越の魅力たっぷりの作品に仕上がりました。

上越の物産センター（12/1～）、および東京事務局にて1部500円にて販売しています。数に限りがあります。お求めの方は、早めにお申し込みください！



1-2月「真冬のご褒美」 撮影：塩尻 崇さん

#### 5. ホームページ（HP）の閲覧者が増えています。

上越タイムス電子版（会員限定）もご覧いただけます。

JネットHPは、上越のカラフルで大きな写真、Jネットからのお知らせや「たより（カラー版）」、関連サイトへのリンクなどが見やすく好評です。

- ① HP右肩「Jネット会員の方 会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし 上越タイムス社HPへ
- ③ 下記のID・PSWにて ログインしてください。

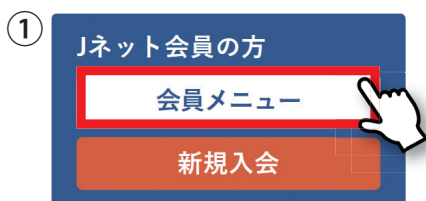
2020.11.30 まで

ID → XXXXXXXXXX PSW → XXXXXXXXXX

2020.12.1 以降

ID → XXXXXXXXXX PSW → XXXXXXXXXX

《※ 3か月ごとに変更します》



#### ② 会員専用コンテンツ（要ログイン）



#### ③



※ 11月からは、テキストでご覧いただく記事、ならびに紙面 PDF は共にカラー画像で表示されるようになりました。



### 1. 上越の行事・展示会の予定

#### (1) 音楽で人と人をつなぐオーレンピアノコンサート —オーレンプラザ

本年8月に、上越妙高駅とならんで、高田城址公園オーレンプラザには、「ストリートピアノ」が設置され、毎月第4土曜日には、来館者の皆様に演奏していただきました。

その今年度集大成として、これまでの参加者によるコンサートが開催されます。

日時：12月12日（土）14:00～16:30

会場：高田城址公園オーレンプラザホール

入場無料。申込不要。途中の入退室可。



#### (2) レルヒ祭（2月）および灯の回廊（2月）

11月中旬時点では、開催を含めて協議中とのことで、開催が決まりましたら、ご案内します。

### 2. 上越の旬の話題

#### (1) 上越の飲食店、ミシュランガイドに続々、登場

本年7月刊行の「ミシュランガイド新潟 2020 特別版」に、上越市から17飲食店が掲載された。

内訳は「ビブグルマン（価格以上の満足感が得られる料理）」が1店、「ミシュランプレート（ミシュランの基準を満たした料理）」が16店。

人口20万人足らずの町でこれだけ掲載されるということは、上越市飲食店は、お食事とおもてなしにおいて、全国でも高レベルにあるといえるのではなかろうか。

なかでも、百年料亭 宇喜世は、江戸時代に仕出し屋からスタートした老舗で、全国26の老舗料亭をつなぐ百年料亭ネットワークのリーダ格。建物は、国登録有形文化財。（趣きある小座敷改修のため、クラウドファンディング募集中。弊会HPで参照）

また、雁木亭は、酒場放浪記の吉田類氏が全国で紹介、最近は、「ふらり旅よい酒よい肴」の太田和彦氏によって絶賛されたお店です。

詳細は、「ミシュランガイド新潟 2020 特別版」（税込2970円）、および各店のホームページをご覧ください。

#### 上越市のミシュラン掲載飲食店

(A) ビブグルマン店（1店）・麵屋 坂本 02 上越店（料理：ラーメン。上越市五智）

(B) ミシュランプレート店（16店）

フランス料理：・ジュ・タドー ・プロヴァンスの12月

イタリア料理：・トラットリア・ラ・ペントラッチャ ・リストランテ サトウ

日本料理・和食：・会心きざわ ・百年料亭 宇喜世

居酒屋：・雁木亭 ・酒肴 八重菊 ・寿司・炉ばた 吉祥亭

ラーメン：・龍馬軒 ・麵屋あごすけ ・中華そば 煮干屋・春紀 ・食堂ニューミサ

蕎麦：・一郷庵 ・雪むろそば家 小さな空

## (2) 八坂神社の改修工事完了

直江津鎮守のお社である八坂神社は、約1千年前に創建され、その祭紀である上越まつり祇園祭は新潟県無形文化財にも指定されるほどで、上越市の貴重な財産でもある。

近年、その八坂神社の屋根の傷みがひどく、雨漏りで祭紀にも支障をきたすため、昨年より屋根を中心として改修工事を進め、本年10月に工事完了、11月8日に仮宮の秋葉神社からご神体を社殿に移し、本殿遷座祭を行った。その工事資金のため、改修奉加会を結成、寄付を募ったところ、当会からも、1件10万円はじめ多くの会員からご協力をいただきました。

まことにありがとうございました。



## (3) 雁木の魅力発見 写真コンテスト 作品募集

越後高田雁木ねっとわーく（会長高野恒男）は、募集した写真を中心に、本年3月、「雁木散策」（写真参照）を発刊、雁木の魅力がふんだんに掲載されており、大好評を得ています。

本年度も引き続き、雁木の魅力を伝えるために、写真を募集しています。雁木を題材とした風景やイベント、伝統行事など、雁木の魅力を発信できる作品のご応募をお待ちしています。



締切：令和3年2月20日（土） ワイド四つ切（デジタル加工不可）

撮影期間：令和元年以降。優秀作品表彰日：令和3年3月7日（日）

応募先：〒943-0826 上越市幸町11-12 雁木ねっとわーく

照会先：高野恒男 携帯 080-1008-0040



## 戦後 75 年—アジア太平洋戦争—『戦場のバイオリニストの思い』

～元 新潟県立高田高校 音楽教師 植木周三の戦争手記から～

(周三の娘三女) 田中幸子



バイオリンを弾く植木氏

亡父植木周三は、旧制新潟県立高田中学校（現県立高田高校）で音楽と出会い東京音楽学校（現東京芸術大学）でバイオリンを学びました

昨年（2023年）の10月15日、その日は植木周三の命日でした。懐かしい気持ちもあって押入の隅に植木周三が残して逝ったダンボール箱の中を覗いて見ました。

箱の中は、軍人時代の写真や勲章、手記、等々が眠っていました。

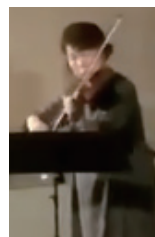
それらに触れているうち、高齢の私に、終活の二文字が思い浮んで来て、後世代に置いて行くには少々不安な気持ちになってしまい。「どうしよう・・・」と思案に暮れました。数日経って、偶然、インターネットで、長岡の県立歴史博物館、「戦後 75 年—アジア太平洋戦争—私の戦争体験記募集」の文字が目にとまりました。×切、令和元年10月30日とあり、慌てて父の遺品を纏めて提供、ギリギリで間に合いほっと致しました。

本年5月末、歴史博物館から、「植木周三さんがスマトラ島のパレンバンで作詞作曲した「ムシ河畔の追悼」の楽譜と、追悼式で使ったバイオリンを展示したいので、是非借用させてください」と、ご依頼があり6/27 - 8/16迄、夏季企画展の特別コーナーで展示することになりました。

7月に入って、今度はNHKから戦場で使ったバイオリンで「ムシ河畔の追悼」を弾いてくださいとご依頼がありました。私は「昨年12月に左石灰珪着性肩関節周囲炎で麻酔治療を受け握力が15に弱り、リハビリ中ですので、今はバイオリンを弾くことは無理です」とご辞退しましたが、「なんとか、無理のない範囲でお願いします」の言葉に、あっさりと取材に応じてしまいました。

数日後、新潟日報朝刊のテレビ番組表に「戦場のバイオリニストの思い」と掲載され、次のように放映されました。

- 8月18日 NHK「610新潟」と「845」
- 8月26日 NHK「おはよう日本」
- 9月16日 NHK「英語版の世界特集放送」
- 10月23日 NHK「再放送」



新潟県立歴史博物館にて、お父様のバイオリンを弾く幸子さん

「トピックス・新潟県立歴史博物館公式サイト」の検索で「戦後 75 年展」を県立歴史博物館の SNS で紹介していますので、今も閲覧できると思います。

下記は植木周三の戦争体験の手記ですが、NHKでは、その内容も要約されて放映されました。

『激動昭和の日本（植木周三・手記）』

日本国は、昭和12年の支那事変から引き続き、昭和17年、大東亜戦争に突入し、インドネシアの石油を確保したが、昭和20年1月24日の早朝8時、パレンバン製油所は三百機の本格的空爆を受け、敵制下に搬出路線をズタズタに切られ、戦火に包まれた戦場で多くの命が失われ敗戦となった。日本軍は捕虜となり、抑留生活は筆舌に表せない程の苦難の日々であった。野戦病院では多くの負傷兵が、毎日死と戦っていた。

昭和21年10月、多くの戦友や部下を失い、悲しみで憔悴し心を打ち砕かれた自分は、捕虜収容所の片隅で、「ムシ河畔の追悼」を鎮魂の思いを込めて作詞作曲した。ある日、部隊副官と、各部隊長の、総勢8人で野戦病院裏の墓地で追悼式を行った。部隊副官の弔辞は、お世話になった数多くの部下・将兵へ感謝と悲しみの思いで冥福の祈りを捧げ、その声は切なく震えていた。

弔辞の後、自分は持参のバイオリンで作詞作曲の「ムシ河畔の追悼」を弾いた。

南の空は晴れ 十字の星瞬けば  
四つの弦（いと）間に濡れ 咽び泣く夜のやるせなさ  
君が御霊に せめて一曲（ひとふし）弾きて慰めん  
涙 隠せど 涙 隠せど 惨き定めかな

追悼式が始まったその時、上陸して来た100名のアメリカ軍隊が通りかかり、行進を止め、敬礼で式を見守り、バイオリン曲を弾き終わると整然と行進して立ち去って行った。我々8人の日本兵はその行動に感心した。』

捕虜収容所にバイオリンが弾ける日本兵がいることがアメリカ軍人たちに知られ、時々、パーティでバイオリンを弾くようにと要請があったそうです。植木周三は、国籍を問わず、リクエストにも応えました。

ある時、一人のアメリカ軍兵士が、故郷の曲をリクエストしました。バイオリンが奏でるその曲に、兵士は泣いていたそうです。

その後、パーティ要請で会場に入ると拍手で迎えられたそうです。

『戦争さえなければ、温かい心が行き交うものだ。音楽は、敵味方なく人々を繋ぐ力があり 自分自身も音楽があったからこそ、人間としての 一番大切な、思いやりや感謝の心を失わなかった』と常々語っておりました。

上記の話は「戦場のバイオリニストの思い」のニュース解説の中で紹介されました。

昭和22年2月15日、植木周三は、復員。昭和23年に県立高田高校に着任。当時は戦死者が多く、教師が少なかった為、高田高校、商業高校、工業高校、北城高校定時制の4校を掛け持ちの他、自衛隊の吹奏管弦楽団の指導もしておりました。

昭和34年春、植木周三に県教育委員会から県立直江津高校教頭の転勤移動の報せが届きました。それを耳にした高田高校音楽部の生徒30人余りが植木宅に自転車で押しかけて来て「植木先生！僕たちを見捨てないでください！どうか高田高校に留まってください！！」と号泣。生徒たちの願いに心を打たれた

植木周三は「解かった、心配するな、先生は明日、県の教育委員会にご理解を頂き、異動を返上する。約束したぞ！」異動の返上は異例でした。

翌日生徒との約束通り県の教育委員会にご理解を頂き植木周三は、平教員のまま昭和40年に退職致しました。父は、生徒一人一人を愛し、生徒の将来を大切に思う人でした。高田高校に身を投じ、ご奉仕することが本望だったと思います。喜びだったと確信しております。昭和激動の日本を走り抜けた植木周三、本年、令和2年10月15日が、23回忌に当たります。

私は4歳で父を南方戦線に行く姿を見送りました。復員後は、夜遅くまで働く父に感謝しながらも、親孝行らしいこともせず、遠い地（仙台）で子育てに明け暮れ、病気療養中の老いた両親が4年間（母は2年目で他界）新潟の我が家で過ごしたのも、束の間の幸せでした。

この度はNHK全国放送テレビを、各地で多くの方々にご覧いただきました。

友人、知人、植木周三の教え子だった皆様から、お手紙やメール、数々の電話で、お話を頂き嬉しく思っております。また、県立歴史博物館経由で一面識も無い人からも、「自分も、ムシ河畔の追悼の曲を弾いてみたいので、詩と楽譜のコピーを送っていただけませんか？」勿論喜んでお贈り致しました。

私は、父植木周三が戦争から持ち帰ったバイオリンから多くの事を学びました。人生において、いかに人と人との絆が大事であるかを、父の生き方が教えてくれました。思いやりの気持ちが高まれば高まるほど絆が深まることを知りました。家族の絆、親戚や、友たち、知人 異国の、行きずりの人との絆、それは、財産であることを学び、同時に「音楽があったからこそ、人間としての一番大切な、思いやりや感謝の心を失わなかった」の言葉は、音楽と共に私の心に響きます。

本年は植木周三の23回忌でもあります。私の生涯で最高の親孝行が出来ました。今、沢山の皆様の声に感謝の気持ちでいっぱい御座います。有難う御座いました。心から厚く御礼申し上げます。



新潟県立高田高校 昭和32年5月、校舎火災の為青空教室で音楽指導の様子 左端が植木周三氏

## 上越産品販売のお知らせ

### ●. Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

### ●. 上越特産市場でキャンペーン（～12月末）

上越市は、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」を運営、キャンペーンとして9月9日～12月末まで割引キャンペーンを行っています。  
「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からお申込み下さい。

### ●. 「新潟・上越妙高

うまさ直送！雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。

日時 11月28日（土）、同29日（日）

12月19日（土）、同20日（日）

会場 有楽町 交通会館1F。

開業時間 11:30 - 17:30

・お問い合わせ先：JCV 東京情報センター 03 (5218) 7730

### ●. 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11:00 - 19:00

年中無休（年末年始は休業）

本日より旬の話題（P.3）、ならびにネットにて「雪国商店」を検索してご覧ください。

## 瀧川鯉橋師匠 ◎出演予定◎

鯉橋：03-3845-1202

◇12/1(火)～5(土) 浅草演芸ホール・夜の部  
時 間：午後5時～9時 ※鯉橋は交互出演のため出演日未定。時刻は午後5時半ごろ

木戸銭：3000円

主 任：瀧川鯉朝。ほかに、ねづっち、蝠丸など出演。

お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)

◇12/20(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第31回)

時 間：午後4時～5時半 木戸銭：1000円

出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの高座有り。

会 場：喫茶「ひとやすみポン」

(若木2丁目、環八沿い。東武東上線・上板橋より徒歩約20分) お問合せ：080-5544-9241(オビ)

令和3年

◇1/11(月・祝) 鯉橋独演会～鯉のつなわたり・その16～  
時 間：午後5時～7時(予定)。2000円。ほか詳細未定。  
会場：お江戸日本橋亭(三越前)

◇1/18(月) グリーンホール八起寄席

時 間：午後6時半～8時45分ごろ

木戸銭：1800円(シルバーなど各種割引有り)

出 演：談修、鯉橋、兼好、文菊

会 場：グリーンホール相模大野(相模大野)

お問合せ：042-749-2200(グリーンホール相模大野)

◇3/24(水) お江戸日本橋亭、鯉橋の会

午後6時～8時半ごろ。2000円(前・予1500円)。ほか詳細未定。

◇12/21(月) お江戸両国亭「七人の侍-第76回-(若手真打勉強会)」

時 間：午後2時～4時半ごろ 木戸銭：1500円 出 演：円福、枝太郎、鯉橋、小助六、鳳志

## ●●●●●●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

Jネットは上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、上越魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読む人を元気にします。

送信先：k.miyazato@araip.co.jp

◎次号「たより」は12月25日の発行です。